

2020 年度「自立援助ホーム支援助成」助成事業実施報告書

団体名 認定特定非営利活動法人 こどもの里

代表者・役職名 氏名 荘保共子 理事長

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 申請事業の名称

入居児童が快適な生活を送るための環境整備事業

2. 自立援助ホームの概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

1980 年に大阪市西成区でこどもの遊び場、こどもと家族の相談の場、生活の場として「こどもの里」が開設。自立援助ホームは、様々な理由により家で過ごすことのできない、居場所のない義務教育終了後の男子を受け入れるため、2016 年 5 月に開設。入居定員 6 名、各部屋個室。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

2 階にある入居児童の各部屋には構造上部屋に空調が設置できず、冬はストーブ等を設置して対応しているのですが、夏は窓を開け扇風機を使用するほか温度調整のすべがありません。部屋で暑さに耐えられない夜などは、空調のある1階リビングで児童が雑魚寝する状況であるため、児童各部屋への暑さ対策が求められていました。また、老朽化した洗面所、風呂場の床・壁面の隙間からは虫が侵入することがあり、生活環境の整備が急務でした。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

入居児童各部屋に室外機の設置が困難なため、簡易設置型、または移動式エアコンを設置し、室内が高温にならないような環境、児童が部屋で就寝できるような環境に整えます。また、洗面所や風呂場床・壁面を補修することによって衛生環境を向上させます。このことにより生活リズムの改善等を図り、健康な生活を営めるよう配慮します。さらに、生活環境の維持向上に向け、整理や掃除等が自発的になされるよう促します。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

暑くなりはじめた 6 月から入居児童各(6)部屋に簡易設置型(ウインド)エアコン、もしくは移動式エアコンを設置しました。暑くて湿度の高い不快な日には夕方・就寝時にほとんどの児童が使用しています。各児童が自室で落ち着いた自分だけの時間を過ごせることで、日々の疲れをリフレッシュできていると感じます。また、学生は学校の課題などを暑い日にも自室で取り組むことができるようになり、集中して終わらせることができました。洗面所や風呂場は、見た目にも衛生的で快適な空間に変わりました。児童は気持ちよく入浴したり、手洗いや歯磨きできることを喜んでいます。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

エアコンを入居児童各部屋に設置したことにより、電気代が以前よりも高くなります。どのようにすれば電気代を抑えられるか、普段、電気代などほとんど意識できていない児童に対して節電意識を持てる支援が必要です。また、暑い時期にも自室で過ごす時間は増えていくと予想されます。自室が児童にとってより居心地の良い場所とするために、日常の中で掃除や片付けを促し、清潔で整理整頓された落ち着いた空間となるようにしたいです。さらに、洗面所や風呂場の衛生環境を維持し、児童に健康的な生活を送ることの快適さを身につけてもらいます。

7. 参考資料

支援対象事業で作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

